

事業活動と資本

当社グループは、木を軸としたバリューチェーン「ウッドサイクル」を回す事業活動により、自社のみならず社会全体の脱炭素化を推進し、資源循環に貢献することを目指しています。ここでは、森林・木材・建築の分野ごとに、関連する資本とステークホルダーおよび資本を活用した事業活動、課題について整理しました。



森林

循環型森林ビジネスの加速

中期経営計画「Mission TREEING 2030 Phase 1」投資額
森林ファンド関連投資額（～2024年） **120**億円

2030年目標
森林保有・管理面積 **50**万ha

森林ファンドを組成し、アジアをはじめ世界中で森林や泥炭地の保有・管理面積を拡大することで、CO₂吸収量を向上。他社と社会のカーボンオフセットに貢献します。

- 森林アセットマネジメント事業会社 Eastwood Forests 社を設立。同社を通じてグローバル規模の森林ファンドを組成し、他社と社会のカーボンオフセットに貢献 [> P.16、52](#)
- 世界初の持続可能な熱帯泥炭地森林管理技術と、(株)IHIの持つ人工衛星を活用した観測技術を組み合わせたコンサルティングサービス「NeXT FOREST」の推進 [> P.16、52](#)
- 森林や土壌における炭素吸収の価値、生物多様性や水循環の保全、地域社会への貢献といった自然資本の価値を適切に評価し、より質の高いカーボンクレジットを創出 [> P.16、52](#)

関連する資本









木材

ウッドチェンジの推進

中期経営計画「Mission TREEING 2030 Phase 1」投資額
木材コンビナート投資額（～2024年） **200**億円

2030年目標
木材コンビナート国産材使用量 **100**万m³/年

木材コンビナートを設立して、国内の林業・木材製造業の効率化と地域活性化に取り組みます。また、木材由来素材への代替で炭素固定量を増大させます。

- 取扱高国内No.1の木材建材商社 [> P.44](#)
- 木材・建材の調達から製品製造・流通までのグローバルネットワーク [> P.44](#)
- 伐採木材製品 (HWP: Harvested Wood Products) の取扱量・製造量を増やし、炭素固定を増進することにより脱炭素化社会へ貢献 [> P.22](#)
- 国産材のカスケード利用を前提とした木材コンビナートの設立 [> P.17](#)
- 木材コンビナート設立による波及効果として、炭素固定期間の増加による脱炭素貢献、木材の付加価値向上（低級材から高強度木材製造など）と林業従事者の雇用創出、国産材の安定供給と価格競争力の強化を目指す [> P.17](#)

関連する資本










建築

脱炭素設計のスタンダード化

中期経営計画「Mission TREEING 2030 Phase 1」投資額
海外木造非住宅投資額（～2024年） **300**億円

2030年目標
年間住宅供給戸数 **5**万戸（国内外）

ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）、LCCM（ライフサイクルカーボンマイナス）住宅、ネットゼロカーボンビルの普及と脱炭素設計（「One Click LCA」×EPD）の確立で、他社・他者の脱炭素に貢献します。

- ZEH、ZEB、LCCM住宅、ネットゼロカーボンビルの普及による暮らすときのCO₂排出量（オペレーショナルカーボン）の削減 [> P.18、46](#)
- 鉄骨やコンクリートで建築した場合に比べて建てる時のCO₂排出量（エンボディドカーボン）の大幅な削減 [> P.18](#)
- 中大規模建築物の構造躯体などへの木材利用の拡大 [> P.18](#)
- マスティンバー建築の推進 [> P.20、48](#)
- 米国でパネル設計、製造、配送、施工までを一貫して提供するFITP（Fully Integrated Turn key Provider）事業の確立で、米国における当社グループ全体のバリューチェーンを強化 [> P.21、48](#)
- 製品のすべてのライフサイクルにわたるCO₂排出量を見える化したISO準拠の環境ラベルEPD（Environmental Product Declaration）取得推進事業の拡大 [> P.18、44](#)
- 建物のライフサイクルにわたるCO₂排出量などを見える化するソフトウェア「One Click LCA」の日本単独代理店として算定受託事業を推進 [> P.18、44](#)

関連する資本








